

歳入 189億4743万円

歳出 182億8154万円

平成21年度鶴ヶ島市一般会計決算は、9月定例会において設置した決算特別委員会に付託され、9月1日、2日の2日間にわたり審査されました。

また、特別会計決算6議案については、所管の常任委員会に付託され、審査されました。

委員会での審査結果は、いずれも「認定すべきもの」で、最終日の本会議において採決の結果、認定されました。

一般会計

市税

Q 市民税の口座振替件数が前年度より減っている理由は。

A 収税対策課長 昨年10月より始まった年金からの特別徴収に伴い、口座振替率が下がったことによるものである。

Q コンビニ収納の状況は。

A 収税対策課長 取扱件数は約6万件で、コンビニ収納を始めた平成20年度と比べ、約1万件増えている。

県補助金

Q みんなに親しまれる駅づくり事業補助金の内容について。

A 秘書政策課長 鶴ヶ島駅構内者用トイレを整備したことに伴う県からの補助金である。

この事業は、新バリアフリー法に基づき、国と鉄道事業者と自治体それぞれ3分の1ずつ負担し整備したもので、そのうち自治体負担額の2分の1が県から補助されたものである。

庁舎エネルギー診断等調査事業

Q 内容について。

A 財政課長 庁舎の老朽化に伴い空調設備の改修を行う必要があるため、市の経費負担を増やすことなく行えるESCO事業が実施できるかどうかの診断調査を行ったものである。

ESCO事業とは、省エネルギー改修にかかる費用を光熱水費の削減分で賄う事業で、改修工事を請け負った業者にその後の維持管理を含めて委託することにより、市の負担を増やすことなく改修工事ができる事業である。

しかし、現在の光熱水費がすでに低いレベルにあり、削減効果を出すことができないという調査結果となったため、ESCO事業による庁舎空調設備改修はできないとの判断となった。

老人福祉センター運営事業

Q シルバー人材センターによる指定管理の状況について。

A 高齢者福祉課長 19年度から指定管理者制度を導入しているが、その間の実績としては、記



老人福祉センター

名式だった受付をカード式に変更したことや利用者アンケートを定期的の実施し改善を図ってきたこと等が挙げられる。また、新しい事業として、カラオケ教室を開催する等意欲的に取り組んでいる状況である。

Q ふろいでの閉館等の影響で利用者が増えていると聞いているがその対応について。

A 高齢者福祉課長 確かに利用者には、この3年間で年々増加している。指定管理者からは、指定を受けた段階から特にお風呂の水質管理には神経を使っていると聞いている。定期的な水質検査も行っているが、特に指摘を受ける状況には至っていない。

地域防犯推進事業

Q 防犯灯の要望と設置の状況について。

A 安心安全推進課長 21年度は、自治会からの要望が31基で、新設が29基であった。ただし、新設の中には寄付されたもの等が含まれている。

学校給食センター更新施設整備事業

Q 内容について。

A 学校給食センター更新担当 席主幹 学校給食センターの老朽化に伴い、更新施設の整備についての基本計画をまとめ、あわ

民生委員

Q 欠員の状況と報酬、活動費の状況について。

A 社会福祉課長 21年度は、秋に病气等により2人の欠員があったが、補充をしている。

また、民生委員は、ボランティアのため報酬の支給はない。ただし、活動する費用として月7000円を支給している。



入学準備金貸付事業

Q 予備費からの充用理由について。

A 学校教育課主幹 20年度までは、毎年1月に募集し、3月に貸付けを行っていたが、高校や大学の推薦入学等には間に合わないとの意見があった。そのため、規則を改正し、10月1日から11月15日を第1期、従来の1月を第2期として募集したところ、当